

# 上山中学校 コミュニテイ スクール通信

Vol. 3

令和4年10月発行  
第3回学校運営協議会  
上山中学校 CS事務員  
南・須田

## 第3回コミュニテイスクール (CS) 会議

令和4年10月3日(月) 14:35から開催されました。

### 《 第1部 》 授業参観(6限)

1階から3階まで各教室に入りながら参観し、体育祭後に振り返りをしたものや、同軍の他学年から届いたメッセージなどの掲示物もじっくり見て頂きました。



### 《 第2部 》 協議会

#### 1. 校長挨拶

先日の9月10日(土)に実施しました体育祭は、絶好の晴天の中、生徒たちが本気になって競い合いながら、たくさんの感動がありました。

私たちの教育の成果は、目の前の生徒の姿で語られなければなりません。閉会式における3人の軍団長の感謝の言葉、そして体育祭を中心となって運営した実行委員長の涙、さらには、その言葉や涙をしっかりと受け止めていた上山中学校の生徒たち。まさにその姿が、体育祭が生徒たちにとってかけがえのない学びの場であり、成長の場であったことを、改めて教えてくれました。

なぜ、こんなにも感動的な体育祭であったのか。もちろん、生徒たちが本気になって競い合った結果であることは間違いありません。でもそれ以上に、私は生徒と真剣に向き合っていた職員の存在があったからだと思っています。そして、これだけ素晴らしい体育祭を創り上げた上山中の生徒だからこそ、もっともっと伸びていくということも確信しました。

しかし、1年中学校行事をやっている訳ではありません。やはり、生徒の力を、そして可能性を伸ばしていける最大の場が日頃の授業です。上山中学校では、全教員一人一人が自分の授業力を高めるために、年1回、他の教員から授業を参観してもらい、自分の授業についてコメントをもらっています。今日も3限と5限にその授業がありました。私も出張や会議がない限り、授業を参観して、自分が感じたことや考えたことを授業者へ返すようにしています。

教師は教員免許状を取得して、日々授業をしています。1クラス4時間の授業を4クラス担当していれば1週間に16時間、1年間におよそ560時間の授業をしていることになります。これだけの授業をやっている訳ですので、やはり学校運営協議会の皆さんや保護者の方々が見られた時に、「とてもじゃないけど真似できない」と思われるような、そんな授業を目指していかなければならないと思っています。それが専門職と言える教師であり、一人一人の生徒の可能性を伸ばす教師であると思っています。

今週の金曜日には前期終業式を迎え、ちょうど1年間の折り返し地点となります。学校運営協議会の委員の皆さんからも様々なご意見をいただきながら、目指す学校像である「みんなが安心して生活し、生き生きと学ぶ学校」を目指して努めていきたいと思っています。今日はよろしくお祈りします。

## 2. 学校運営協議会 山崎会長挨拶

9月10日の体育祭、生徒さんたちが一生懸命積み上げてきたものを精一杯発揮しようという気持ち、情熱が伝わってきました。競技や応援やパネル、生徒さん同士が協力し軍団をつくり上げていたと思いました。実行委員会や軍団長がしっかり周りを見て協議しながら、自主性を持って運営をしているのがよく見えました。そして、それを見守る先生方との信頼関係もよく伝わってきました。毎年、軍団長や実行委員長が涙する姿を見るたびに、すごく純真な心と精一杯やり切ったという気持ちが伝わってきて、こちらまで清々しい気持ちになって、良い体育祭だと思い、楽しませてもらいました。

10月1日の吹奏楽部の定期演奏会、とても素敵な演奏会でした。司会進行や荷物運びなど、吹奏楽部の生徒さんの手でやっていたこと、そして指導の先生方がすごくサポートされていることが伝わりました。先生から10名の3年生一人一人へのメッセージを聞いてよく見ておられるなどと思いました。生徒さんが頑張っている姿を先生がひとつひとつ見ているから、生徒さんも頑張れるんだなどと思いました。素敵な演奏をありがとうございました。

今日の授業参観でも多くを学び得ました。どうしたら画像を使って生徒さんに響くかを工夫する先生が多くいらっしゃいました。ただ、先生も生徒さんもタブレットを操作するには机が少し狭いように思いました。ここも工夫しながらやれるのかなと思いました。先生方との信頼関係に基づいた授業体制についても、皆さんと一緒に話ししていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

## 3. 協議

### 【 前期の振り返り ～ 後期の要望 】

前期の学校評価シートを作成し、目指す目標について進捗状況の説明がありました。

☆ 質疑応答



( 委員 )

忙しい中、先生方が自分の授業を見てもらい評価を受けるということは負担ではないのか？

( 学校 )

自分の授業をよりよくする大切な機会であり、4つの力（聴く力・伝える力・行動する力・調整する力）を育てるために必要。業務の見直しや整理と並行して行っていきたい。

公開授業は校内の先生だけか？校外からも来て評価されるのか？

どちらの場合もある。通常は校内の先生方でグループを編成し、互いに授業を参観している。

「ペアやグループでの話し合い活動は好き」の自己肯定評価は80%を超えているが、「自分の考えを進んで伝えている」の自己肯定評価は60%である。それを改善するには、何かをやり遂げたという自信がつくような機会が増えれば良いのではないかと？先ほどの参観時、先生が生徒に声を掛ける割に生徒の反応があまり良くないように思えたが、普段の様子はどうか？

( 学校 )

例えば社会科ではグループの話し合いは一生懸命にやっている。自分たちで何かやっていくというよりは静かに聞く時間もある。

英語では言語の習得や活用するという目的があるため、授業のねらいが明確になりやすい。特に3年生は自分の言葉を発信したいと思っていることが伝わってくるので、発信する機会を授業の中でも作っていききたい。

( 委員 )

生徒に教えるには先生も教えるスキルを学ぶ必要がある。先生同士でも年代の差で知識の差はあると思うが、生徒から教わることもあるのではないかと。親が子に教わることもある。先生もスキルアップの必要に迫られることがあるのではないかと。

職員数が多い分、世代間交流も生まれ、いろいろな情報交換をしながらやっている。

#### 【 生活のきまりの変更について 】

校則の一部見直しについて、制服の男子・女子の表記を A パターン・B パターンに変更した。頭髮についても一部変更した。

校則はなぜあるのか？何のため、誰のためにあるのか？生徒たち自身で真剣に考え、伝える機会にしたい。本気で学校を変えたい、そのために校則を変えたいというのなら変えて良いと思う。変えると決めた訳ではないが、この後、生徒会5役と話し合いをする予定になっている。(校長)

( 委員 )

現役員だけでなく、次期役員の意見も聞いて欲しい。

生徒から変更希望の声があがっているのか？声があがっていないのなら変えなくても良いのではないかと。

( 学校 )

上山中学校の大きな課題の「自ら考え、判断し、行動する」という力が弱い。そういう力が無い訳ではなく、機会がない。考える力をつけるには考えさせる、判断する力をつけるには判断させる、行動する力をつけるには行動できる機会を設ける必要がある。生徒たちが本気になって取り組めることの1つが校則の見直しだと思う。結果として生徒たちが考える校則が何も変わらなくても、そこまでの過程が大事である。主体的な力をつけるための1つの題材と考えている。

#### 4. その他・連絡

( 委員 )

体育祭のパネルの説明や思いを伝える場面は今までなかったが、今年行った理由は？

( 学校 )

意見箱に要望があり、それに応えて実現した。

《 参観の様子 》

